

特 殊 報

長崎県病害虫防除所長

令和2年度病害虫発生予察 特殊報第1号

- 1 病害虫名 ブルーベリー類うどんこ病（仮称）
- 2 病原菌名 *Erysiphe* sp.*（※*Erysiphe* 属はうどんこ病菌の代表的な属の一つ）
- 3 発生物種 ブルーベリー（無加温栽培）
- 4 発生確認の経過および概要
 - （1）生産者への聞き取りによると、県内のブルーベリー栽培ハウス（無加温）の一部において、令和元年6月上旬、葉の表裏に白色粉状の菌叢を発見、その後同一ハウス内で発生が拡大した。
 - （2）令和元年6月28日に現地から要請があり圃場を確認したところ、前述の症状に加え菌叢発生部分の黄化・褐変などの症状が認められ（写真1～4）、令和元年7月に農林水産省門司植物防疫所に菌の同定を依頼した結果、*Erysiphe* sp.であることが確認された。
 - （3）令和2年6月上旬に同じ圃場で再度、同一の症状が発生したため、罹病葉を採取し三重大学大学院生物資源学研究所・植物医科学研究室に詳細な種の同定を依頼している。
 - （4）発生品種は「ブライトウェル」、「パウダーブルー」の2品種（いずれもラビットアイ系品種）である。
 - （5）露地栽培のブルーベリー圃場での発生は、確認されていない。
 - （6）日本植物病名データベースに未記載のため「ブルーベリー類うどんこ病（仮称）」とする。
- 5 病徴
 - （1）葉の表裏に白色粉状の菌叢が生じ、葉の両面の大部分におよぶ場合もある。
 - （2）罹病葉には、黄化あるいは褐変（赤褐色）症状を示すものも見られ、病斑の表層には菌叢の形成が見られる。
 - （3）枝・果実での発病は、現段階では確認されていない。
- 6 防除対策
 - （1）ブルーベリーにおいて本病に適用のある薬剤はない。
 - （2）罹病葉は除去し、圃場外へ持ち出して埋却するなど適正に処分する（整枝・せん定くずも同様）。



写真1 白色粉状の菌叢（葉表）



写真2 白色粉状の菌叢（葉裏）



写真3 葉の黄化、褐変症状①※



写真4 葉の黄化、褐変症状②※

（※症状部位の表層には白色粉状の菌叢あり）

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

